

用語解説

●地かく

地球の内部のつくりは、卵にたとえることができます。卵のからにあたるところを地かく、白みにあたるところをマントル、黄みにあたるところを核といいます。

●岩石

地かくをつくっている物質で、石ともいいます。でき方によって、火成岩^{か せい がん}、たい積岩^{たい せき がん}、変成岩^{へん せい がん}にわけられます。

●マグマ

地下の岩石の一部がとけてできた液体です。地球をつくっている地かくやマントルはふつうは固体です。何らかの原因である部分の温度が上がったり、圧力が下がったりすると、その部分の岩石がとけてマグマ（液体）になります。

●火成岩^{か せい がん}

マグマが冷えて固まった岩石を火成岩といいます。マグマが冷えて固まるときの条件によって色々な種類の火成岩^{か せい がん}（火山岩^{か ざん がん}・深成岩^{しん せい がん}）ができます。

●火山岩^{か ざん がん}

マグマが地上に出たり、地下のごく浅いところで急に冷えて固まったものを火山岩といいます。火山岩には流紋岩^{りゅうもん がん}・安山岩^{あん ざん がん}・玄武岩^{げん ぶ がん}などがあります。

●深成岩^{しん せい がん}

マグマが地下深いところでゆっくり冷え固まったものを深成岩といいます。花こう岩^{がこう がん}・せん緑岩^{せん りょく がん}・はんれい岩^{はん れい がん}などがあります。

●たい積岩^{たい せき がん}

海の生物の遺骸^{い がい}や、川によって運ばれた土砂^{ど しゃ}がたまり、長い時間をかけて固まったものです。たい積岩には泥岩^{でい がん}・砂岩^{さ がん}・れき岩^{れき がん}・チャート^{チャート}・石灰岩^{石灰 がん}などがあります。

●変成岩^{へん せい がん}

火成岩やたい積岩が、地球内部の熱や圧力によって、すでにあった岩石の性質やつくりが変化してできた岩石です。変成岩にはへんま岩^{へん ま がん}・結晶片岩^{けつしゅう ぺん がん}・ホルンフェルス^{ホルンフェルス}・蛇紋岩^{じゃもん がん}などがあります。

さくいん

あ	安山岩 ^{あん ざん がん}	20,22,30
か	ガーネット	15,17
	花こう岩	11,12,13,14,17,20,24,30
	火山岩 ^{か ざん がん}	20,21,22,30
	火成岩 ^{か せい がん}	14,20,21,22,24,30
	かんらん岩	29
	かんらん石	23
	岩片 ^{がん ぺん}	16,17
き	輝石 ^{き せき}	17,23,25
く	黒雲母 ^{くろ うん も}	15,17,25
け	結晶片岩 ^{けつしゅう ぺん がん}	14,21,28,30
	玄武岩 ^{げん ぶ がん}	20,22,29,30
こ	黒色片岩 ^{こくしよく ぺん がん}	29
さ	砂岩	14,17,20,26,30
し	磁鉄鉱 ^{じ てつ こう}	17
	蛇紋岩 ^{じゃもん がん}	17,21,28,30
	深成岩 ^{しん せい がん}	20,21,24,30
せ	石英 ^{せき えい}	15,16,17,25
	石英片岩 ^{せき えい ぺん がん}	29
	石灰岩	27,30
	せん緑岩 ^{せん りょく がん}	20,24,30
た	たい積岩 ^{たい せき がん}	7,12,13,14,20,21,26,30
ち	地かく	30
	チャート	17,26,29,30
	長石 ^{ちよう せき}	15,16,17,23,25